

# 株式会社湯ネックス 環境行動計画

令和 2年 9月 1日

## 取組方針

- ・『大きなお風呂やリラクゼーションで心と身体を癒して頂く』
- ・『湯上りにはお食事でお腹も心も満たして頂く』
- ・『裸の付き合いや食を通じた語らいを通じて、すべてのお客様に笑顔になって頂きたい』

株式会社湯ネックスは、日本が誇る銭湯文化を次代に繋ぎ、育む者として、地域に根ざした心豊かなお風呂づくりを目指します

私たちは、事業活動を進める中で、環境保全が重要課題の一つであることを認識し、事業活動が環境に与える影響を最小限に留めるため、以下の取り組みを全従業員に周知し、一丸となって推進します またこの取組方針は、社外へも広く公開します

- ①省エネルギー活動を推進し、二酸化炭素排出量を抑制します
- ②節水に努め、水の適正利用を心掛けます
- ③廃棄物の削減とリサイクルを推進します
- ④環境保全活動を推進します

制定日：令和 2年 9月 1日


株式会社 湯ネックス


代表取締役社長 百々 和弥

## ■ 環境負荷低減の取組

当社では、事業活動に伴う環境負荷を低減するための取組目標を掲げ、目標を達成するための具体的な取組を設定して取り組むこととしています。設定した取組目標と具体的な取組項目は、次の通りです。

|  |   |  |   |  |
|--|---|--|---|--|
| 目標一  | <p>二酸化炭素の総排出量を、2019 年を基準として 2022 年までに 3%削減し、1,171,897kg-CO<sub>2</sub>に削減する</p> <div data-bbox="501 674 1310 819" style="text-align: center;"><table border="1"><tr><td style="padding: 5px;">2019 年度総排出量<br/>1,208,142kg-CO<sub>2</sub></td><td style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">➔</td><td style="padding: 5px;">2022 年度総排出量<br/>1,171,897kg-CO<sub>2</sub></td></tr></table></div> | 2019 年度総排出量<br>1,208,142kg-CO <sub>2</sub> | ➔ | 2022 年度総排出量<br>1,171,897kg-CO <sub>2</sub> |
| 2019 年度総排出量<br>1,208,142kg-CO <sub>2</sub> | ➔   | 2022 年度総排出量<br>1,171,897kg-CO <sub>2</sub> |   |  |
| 具体的な取組                                     | <p>(施設での取組)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>①空調の運転温度を設定し、適正に管理する</li><li>②空調機器のフィルターを定期的に清掃する</li><li>③空調機器は、不要時間帯には運転しない</li><li>④照明機器は、不要箇所・不要時間帯には、消灯・減灯を徹底する</li><li>⑤給湯・給水の節水を心掛ける</li><li>⑥電力デマンドは目標値を設定し、順守する</li><li>⑦浴槽補給水の運用改善により補給水量を削減し、ボイラーの昇温負荷を低減する</li><li>⑧すべての従業員には、個人利用を含めて、車両のエコドライブ推進を呼び掛け、周知する</li></ul>  |  |   |  |

|               |  |
|---------------|--|
| <p>目標—2</p>   | <p>重油使用量を、2019年を基準として2022年までに5%削減し、<br/>252,700Lに削減する</p> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>2019年度重油使用量<br/>266,000L</p> </div> <div style="margin: 0 20px;">  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>2022年度重油使用量<br/>252,700L</p> </div> </div> |
| <p>具体的な取組</p> | <p>(施設での取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①ボイラー・貯湯槽の温度管理を徹底し、無用・無駄なボイラー運転をしない</li> <li>②浴槽・濾過循環系統での、過剰な給湯補給・無駄な給湯排水を低減し、ボイラー負荷を増やさない</li> <li>③ボイラー負荷低減のための、改善策を検討・実施する</li> </ul>  |

|               |   |
|---------------|---|
| <p>目標—3</p>   | <p>廃棄物の総排出量を、2019年を基準として2022年までに、<br/>2%削減し、3.7tする</p> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>2019年度廃棄物排出量</p> <p>3.8t</p> </div> <div style="margin: 0 20px;">  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>2022年度廃棄物排出量</p> <p>3.7t</p> </div> </div> |
| <p>具体的な取組</p> | <p>(施設での取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①廃棄物の分別を徹底し、廃棄物の削減とリサイクルの向上を図る</li> <li>②購入した物品は丁寧に扱い、可能な限り長期間使用する</li> <li>③書類・資料の電子データ化・ペーパーレス化を推進する</li> <li>④両面印刷・使用済み用紙の裏面利用を徹底し、印刷物を削減する</li> <li>⑤食材ロスノートを作成・管理し、過剰な食材発注を行わない</li> <li>⑥再利用可能なビン飲料を販売し、ビンは回収して再利用する</li> </ul>  |

|               |   |
|---------------|---|
| <p>目標—4</p>   | <p>水の総使用量を、2019 年を基準として 2022 年までに 5%削減し、<br/>63, 224 m<sup>3</sup>に削減する</p> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center; gap: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>2019 年度水使用量<br/>66,552m<sup>3</sup></p> </div> <div style="font-size: 2em;">→</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>2022 年度水使用量<br/>63,224m<sup>3</sup></p> </div> </div> |
| <p>具体的な取組</p> | <p>(施設での取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①無駄・無用な水の使用をやめる</li> <li>②配管系統の漏水の有無を定期的に点検する</li> <li>③浴槽補給水の運用改善を図り、補給水を削減する</li> </ul>  |

## ■ 環境行動計画の実施体制

この環境行動計画にそって環境保全活動を推進するために、環境管理責任者を中心としてワーキンググループを設け、全従業員が「具体的な取組」を実行します。